

平成 25 年度 阿波っ子すだち（巣立ち）宣言 活動報告

学校名 木屋平中学校

わたしたちの宣言

- 知 苦手な教科を復習し、得意な教科をひとつでも増やします。
様々な行事や体験にチャレンジし、学んだことを生活にいかします。
- 徳 地域の活動に率先して取り組み、地域の人たちとふれあって輪を広げます。
人権について考え、困っている人がいればすぐに行動に移し、ひとつでも多くの笑顔を増やします。
- 体 健康的な生活を送り、体力を向上させるために、早寝・早起きし、朝ごはんを食べて丈夫な体をつくります。

活 動 記 録

知	徳	体
<p>毎朝 25 分間、プリント学習と読書を行った。</p> <p>家庭学習で、自主勉強ノートを使って学んだことを復習したり、プリントでドリル学習をした。</p> <p>地元の会社「ウッドピア」の協力を得て、重機の操作や木工作業などの林業体験をし、地域の産業について学んだ。</p> <p>1泊2日で剣山登山を経験し、自然の雄大さを実感したり、励まし合いや協力することの大切さを学んだ。</p>	<p>美馬市内にある「健祥会」を訪問して、施設見学や高齢者疑似体験をしたり、地域にある 高齢者生活福祉センター「つるぎの里」を訪問して、高齢者とふれあった。</p> <p>美馬市保健センターにおいて実施されている「思春期ふれあい体験学習」に参加して、乳幼児とふれあった。</p> <p>学校の近くの穴吹川へ出かけ、水質調査や生物の調査を行った。また、清掃活動も行った。</p>	<p>毎日、朝・夕の部活動に参加した。</p> <p>毎朝、健康チェックカードで自分の体調を記録した。</p> <p>木屋平幼・小・中学校地域市民運動会や産業文化祭に参加した。</p> <p>12月に開催される木屋平マラソンへ自主参加した。</p> <p>毎日、給食を完食した。</p>

成果と課題

自分たちが生まれ育った地域・木屋平には、伝統的な文化が存在する。今、ここでは高齢化が進んでいるため、自分たちがしっかりと伝統を引き継いで、守っていかなければならないと考えている生徒が多い。しかし、中には学校の行事だから伝統芸能の練習に参加しているという生徒もいるのが現状である。それぞれの行事の意義をしっかりと伝え、生徒が主体となって行える恒例行事にしていくことが今後の課題のひとつである。